



❖今年も梅雨の季節がやってまいりました！❖

思いがけない梅雨寒が続いて、
一度しまったストーブを出す方もいるのではないのでしょうか。
ワンちゃん、猫ちゃんでも
体調を崩してしまう子がでてきます。
温度管理に気をつけて健やかな日々をお過ごしください。



ペットの梅雨トラブルに注意！

梅雨時は雨が多く、湿度が高い時期です。
お散歩に行けないタイミングも多く、愛犬にもストレスがたまりやすい季節です。
菌も繁殖しやすいため、ペットには健康トラブルの危険が沢山潜んでいます。

今月号ではよくあるトラブル3つをご紹介します。
ペットは自分ではトラブル回避できません。
そんなワンちゃん、猫ちゃんをご家族で守ってあげましょう！



梅雨トラブル ベスト3

1. 皮膚病

被毛に覆われている動物の体は、菌繁殖による皮膚疾患が起こりやすい状態です。

よくある疾患としては

マラセチアによる外耳炎、耳ヒゼンダニによる耳疥癬、細菌感染による膿皮症、ノミによるアレルギー性皮膚炎などがあります。

2. 害虫トラブル

ノミやマダニ、蚊などの害虫は高温多湿環境で活動が活発になります。

殺人マダニと話題になったこともありますが、

マダニは日本紅斑熱や SFTS などさまざまな病気を媒介し、

人やペットの命にかかわる病気を運ぶ危険もあります。

ノミは下痢や食欲低下を招く犬条虫などを、蚊はフィラリアを媒介します。

3. 食中毒

開封して食べ残したフード（特に缶詰など水分の多いもの）、

生食用の肉・魚、不衛生な食器などにおいて細菌繁殖が起こりやすく

ペットが食中毒を引き起こすことがあります。



ご家族のできること

1. 体のケア

雨の日の散歩の後やシャンプー後は、ドライヤーを使ってしっかり乾かします。

特に足裏は泥が付くことで菌もつきやすく、乾きにくいので注意です。

耳の中も菌が繁殖しやすいので、よく拭きます。

綿棒は汚れを奥に押し込んでしまう可能性があるため使わず、

コットンやティッシュを使って汚れを取ってあげましょう。

フィラリア予防薬、ノミ・ダニ駆虫薬で害虫トラブルもしっかり予防しましょう。



2. 身の回りのケア

ベッドやマットは、できるだけこまめに洗濯・天日干しし、

乾いたら掃除機や布団クリーナーで害虫の死骸やホコリなどを吸い取ります。

また、ケージやマット類は、掃除機を使い、汚れや被毛、害虫を取り除きます。

虫よけ剤を室内に置いたり、ケージやベッドに抗菌作用のあるスプレー剤を吹きかけたりして、細菌や害虫が繁殖しにくい環境づくりを心がけます。



3. 食事のケア

食べ残しフードは早めに片づけ冷暗所や冷蔵庫に保存しましょう。

開封後、早く食べきれよう小さ目のパッケージのフードを選ぶのもおすすめです。

また、水はつねに新鮮できれいなものをあげられるよう、交換はこまめに。食べカスが混入すると傷みやすいので、食後はとくにしっかりとチェックしましょう。

ご不安な点は、お気軽に当院へご相談ください！



学べるワンニャン語クイズ



問題1：人間同士がソファでぴったり近づいて座って話していたり、口論をしているとき邪魔してくるワンちゃんの気持ちは？（答えはページの下です。）

- ① 大変だワン！
- ② お散歩の時間だワン
- ③ お腹すいたワン



問題2：猫ちゃんがスリスリこすりつけてくる一番の理由はなぜ？（答えはページの下です。）

- ① 愛情表現だにゃ
- ② 落ち着かないにゃ
- ③ お外に出してほしいにゃ



プチ情報

猫の飼い主さんへ 在宅ワーク中の襲撃対策が話題

緊急事態宣言が発令されて以来、テレワークになったという人も多だろう。会社でPCに向かってやっていた仕事が、自宅でもできる。通勤時間がない分、体力的にもラクだ。

だが、そんなテレワークにも意外な問題点があった。飼っている愛猫がテレワークの邪魔をしてくるのだという。かわいい猫がやってきたら、仕事どころではない。それがふつうの考え方だろう。

何か猫対策はないものか？
そんな議論も交わされる中、次のようなツイートが2020年5月13日に投稿され、話題となっている。

テレワークを邪魔してくる猫には、「猫の入る箱を用意すれば良い！」という説に従って実践してみたところ、「10秒で効果が出て大爆笑してる」という投稿だ。

かわいい猫ちゃんの証拠写真も添えられている。このツイートには、3万件を超える「いいね」が付けられ、拡散中である。

問題2：② 猫はいつもこちらが臭いから臭いからと落ち着きません。自分の臭いをつけて安心するためにスリスリするので。

問題1：① 人間が距離をこめて話したり、ソファをしながら、犬にとっては緊張状態に見えます。群れで生活をしていて犬にとっては仲間内での争いを避けようと仲裁に入ろうとします。

プチ情報

ペットとの暮らしアンケート結果紹介

生活に癒しを与えてくれる存在として、ペットを家族の一員に迎える家庭は多い。

事実、平成のペットブームから、令和の現在もペット飼育数は衰えず、全国で1,855万2千頭ものペットが家族と暮らしている。

(一般社団法人 ペットフード協会の平成30年(2018年)全国犬猫飼育実態調査より)



出展 : <https://gunosy.com/>

一方で、突然の転勤による引っ越し、災害など予期せぬ事態に直面し、ペットという大切な存在と離れ離れになってしまった経験がある人も少なくない。

そこで今回、スーモカウンターによる「ペットとの暮らし」をテーマした、20~60代のペットを飼う既婚者500名を対象とした意識調査が行われたので、その結果を紹介していきたい。

ペットを家族と同じくらい大事に思っている人は、9割にも及んでいる。また、ペットにかかるお金の月額平均は6,930円、最大で5万円という結果もみえてきた。

ペットの平均寿命は、犬・猫ともに約14歳程度、医療の進歩とともに延び、この10年間で犬は0.7歳(8.4か月)、猫は0.5歳(6か月)の延びとなっている。

これは人間の年齢に換算すると、犬は約4~5歳分、猫は約3~3.5歳分にあたる(『アニコム 家庭どうぶつ白書 2019』より)。

人生のうち十数年を共に過ごすペットは、より家族として考えられるようになっている。

プチ情報

特大きつねうどんに変装した柴犬が話題

飼い主さんが見た目のインパクトに惹かれて購入したという『きつねうどんベッド』。

そこへ愛犬のゆきちゃんが入ると…予想以上に『きつねうどん』でした。ゆきちゃんの素敵な茶色の被毛がまるでお揚げさんのよう…。

Twitterで話題沸騰中です。

出展 : <https://gunosy.com/>



本の広場

ツバメのひみつ

長谷川 克 (著)



人間にとって身近な鳥でありながら謎の多いツバメの実態に迫る。

基本的な生態から、飛翔と渡り、恋愛事情、子育て、文化や人間とのかかわりまで、

最新の研究で明らかになった事実などを盛り込みつつ、わかりやすく解説。

出典 <https://www.amazon.co.jp/>

春にツバメを見かけて不思議に思うことがあるあなたへおすすめです。

この本を読んでツバメという生物の神秘を知り、ツバメを大事にしたいと思う気持ちが強くなります。

この季節に読みたい一冊です！